

事業所名 グループホーム六じょうや

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和7年6月26日(木)

参加者(人数)	議題
利用者 0名	1 六じょうや基本理念・目指す場所
利用者家族 2名	2 入居者情報
地域住民の代表者 1名	3 利用者の医療看護の状況
市職員 1名	4 行事報告 実績写真添付
地域包括支援センター職員 1名	5 身体拘束廃止委員会
見識者 0名	6 今後の事業計画
事業所 3名	
会議録	

2 入居者要介護度の状況、平均年齢、平均介護度、年齢別介護度、面会者数などについて前回との変化を報告しました。

3 入居者の医療看護の状況(令和7年4月24日～令和7年6月25日期間)を報告しました。

〔利用者の転帰状況〕

〔入居者の看護、介護の状況〕

〔利用者の健康教室開催状況〕 講師矢萩看護師

5月 带状疱疹、百日咳などの感染症、食中毒の予防について

6月 低気圧病について

入居者参加と職員参加で一緒に勉強しています。(別々に参加)

4 主な行事報告

・父母の日 ・お茶会

各行事の楽しさを説明し、写真を添付してご家族にも知って頂きました。

5 身体拘束廃止委員会

身体をヒモや柵などで拘束して自由な動きをさせないことは、身体拘束だと思いますが、自宅で生活されている方などで、経済的にお金を持たせてもらえないくて、自由にものを買ったり食べたりできず、交通機関も利用できないため、遠くへ移動できない場合などは、身体拘束となるのでしょうか。

(家族) お金を無くしてしまうので通帳をあずかったが、毎日電話がかかってきてしばらく大変だった。でも仕方がないと思う。

(家族) 通帳などを紛失したことをきっかけに、自分から預けるようになった。必要なことだと思う。

(社協職員) お金の管理ができる人に渡さないのは虐待だと思うが、そうでない人の場合は虐待に当たらないと思う。

(市職員) 大きい意味で身体拘束にあたると思う。

(地域住民) 同居していない子供や孫にお小遣いを沢山あげて、必要なお金がなくなってしまうことがあるので、預かって管理した。

(その他の意見)

特になし

6 今後の事業計画

- ・今期を振り返って
- ・設備について
- ・職員の定着について
- ・今後の主な行事について
 - ・7月 七夕まつり
 - ・8月 夏祭り
- ・次回運営推進会議 2025年 8月 28日（木）